

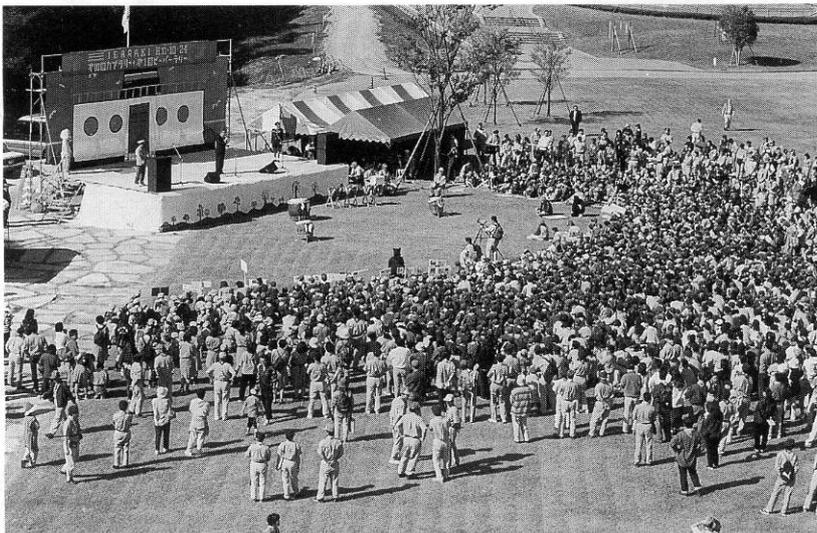
# SCOUTING 茨城

1999年10月24日 茨城県連盟広報委員会発行

茨城県連盟創立50周年記念プレ事業



## 第10回カブラリー&第1回ビーバーラリー 特集号



第10回カブラリー&第1回ビーバーラリーが、平成11年10月24日(日)秋晴れの空の下、世界的に有名な陶芸の町笠間で開催されました。開催地の芸術の森公園には

- ・カブスカウト 933名
- ・ビーバースカウト 261名
- ・ガールスカウト 101名

そしてリーダー、一般の方々、約2500名が集結しました。



今回の目玉となった熱気球

### カブ・ビーバーラリーを省みて

県連盟副連盟長 橋本 千代寿

県連盟創立50周年記念プレ事業の最初の行事であった「第10回カブラリー及び第1回ビーバーラリー」が、素晴らしい秋晴れのもと、茨城県と笠間市のご協力をいただき、笠間市芸術の森公園イベント広場をお借りして「きれいな地球、ぼくらは元気」のテーマを掲げて、楽しい一日を全員で久しぶりの大会を成功裏に終了した事を心から喜びと感謝を申し上げます。

さて私もこの大会にふさわしい大会長の挨拶を申し上げようと考え、事前に或る程度は準備して臨みましたが、お祭り広場に集まったスカウト達の、楽しい交流と体験により有意義な大会をやろうとするエネルギーと、それを更に盛り上げようとする若きリーダーの皆様のリードによるすばらしい雰囲気、大転換をせざる破目になりました。

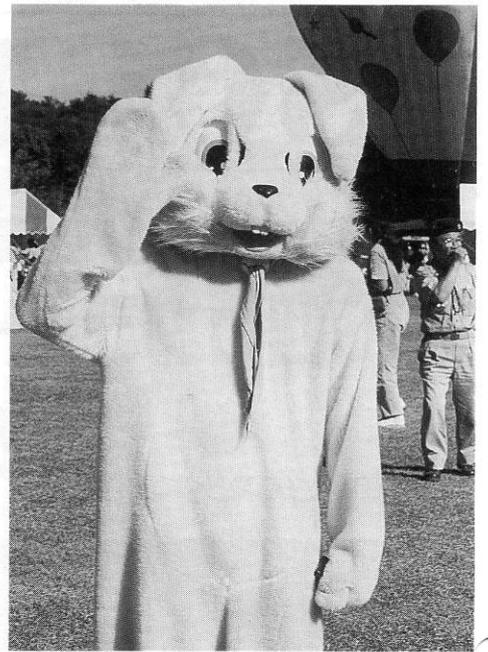
その後展開されました各種プログラムも、県内各団の創意と工夫に満ちたイベントが会場全体に展開され、大成功のうちに終了しました事はなんといっても、スカウト諸君の本大会に対する意欲と、それを引き出す為の雰囲気作り而努力された指導者諸君の力があってかもし出されたエネルギーの賜と心から感謝申し上げます。この様な姿こそスカウト運動の原点であり、教育本来の「育てる」と云う原理ではなかろうかと思えます。

どうぞ今後もスカウト運動に精励して21世紀にふさわしい世界人となりますよう期待致します。



# ワールドツアーに出航だ!!

## 元気な声でエイエイオー



うさぎ2号



水戸8団 ゆりちゃん まさきくん



笠間稲荷ばやし



来て見てさわって かさまでゴザル



キャプテン カズ アンド ミツルおねいさん

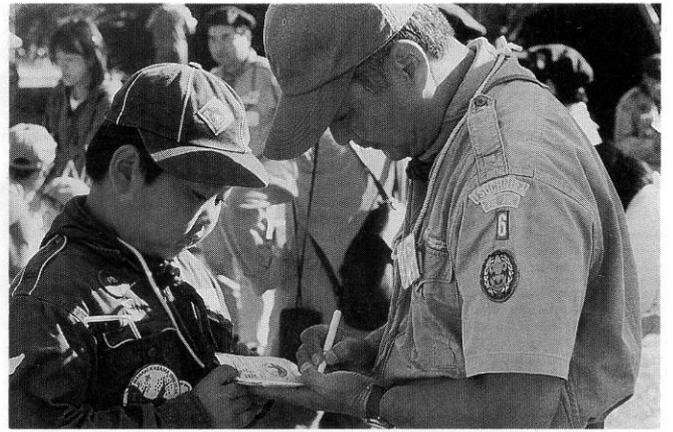
# ランチタイムプログラム



ガールのみんな  
たのしんでいただけましたか？



なわとびとんだ 1人でとんだ  
(だれよりもたかく だれよりもはやく!!)



なわとびトーナメント とべ!!



オールスターつなひきトーナメント ひけ!!



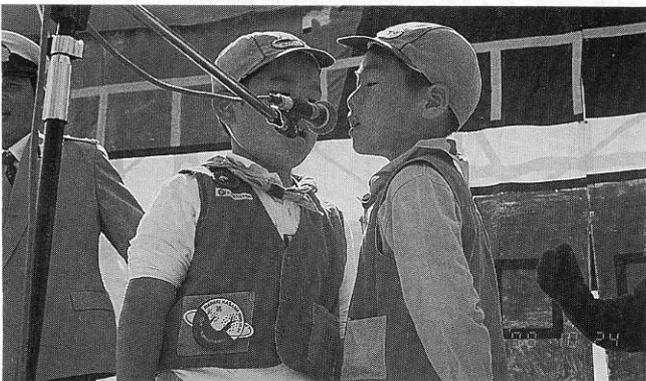
ねらったエモノは逃がさないわよ



# ビーバー オン ステージ



狩人（原始）の血が騒ぐ

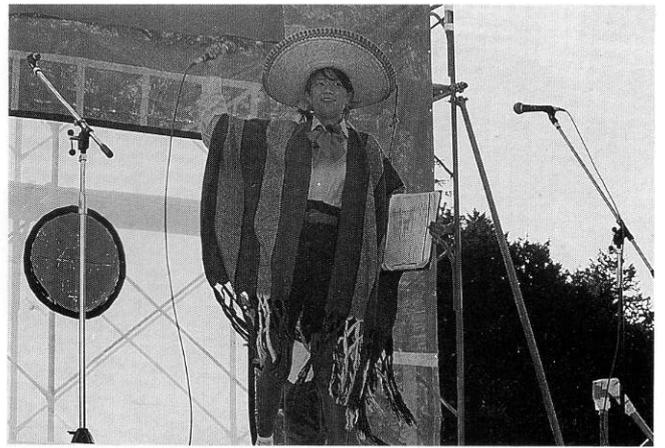


世界中だれだあって♪



世界はまわる～♪





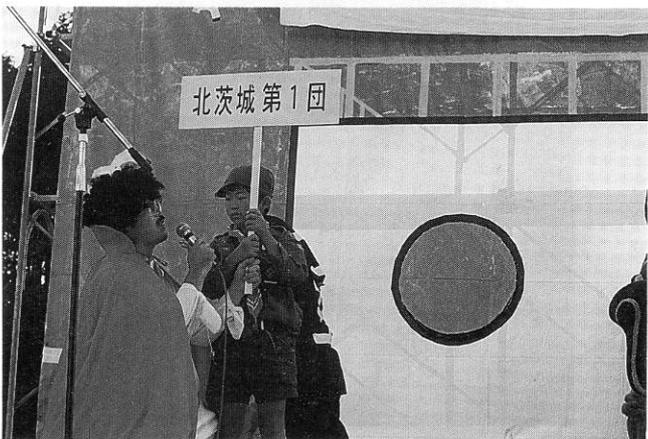
アミーゴ 楽しかったよ♡

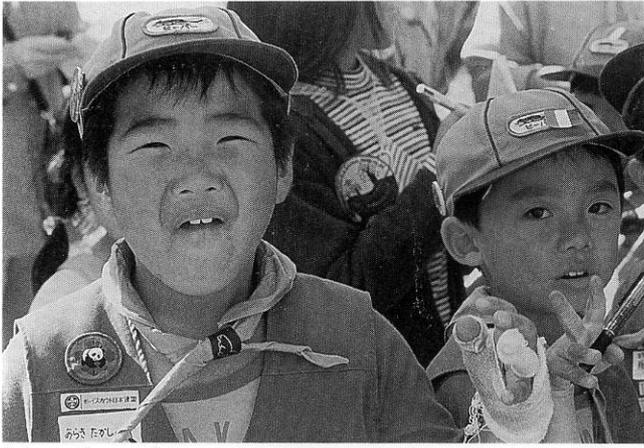


# サンセットコンサート



おサルもウサギもバイバイ

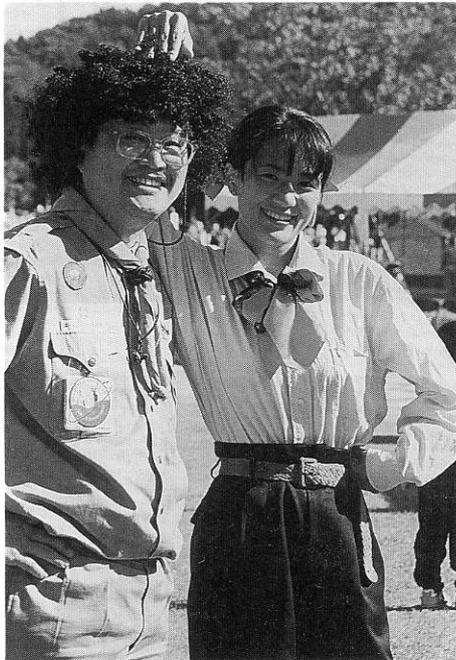




はーやーくうー。  
ボクもはやくやりたいのに……。



えがお・エガオ・笑顔!!



え  
が  
お



Who?  
笑顔の隊長 ステキ♡

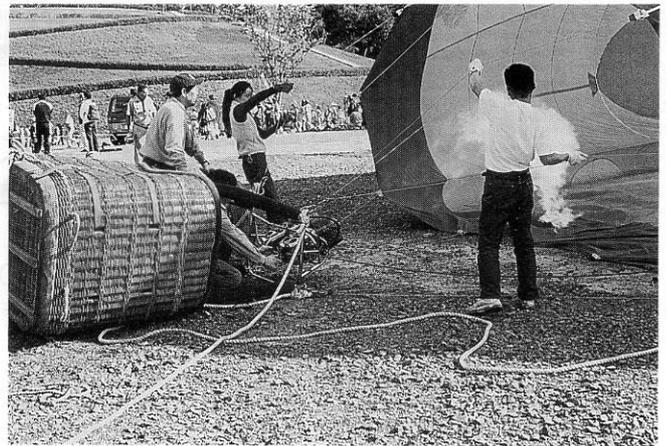
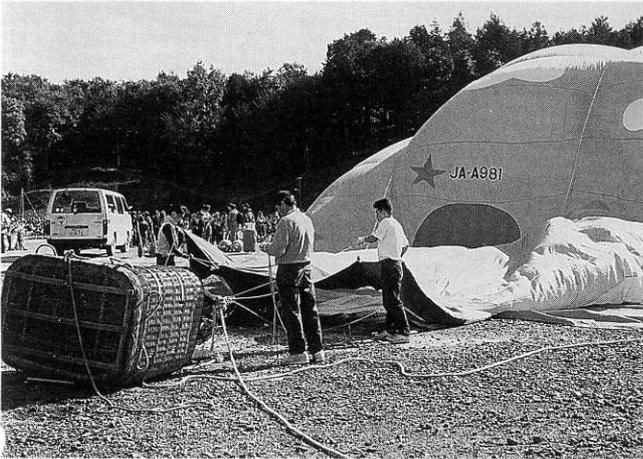


最高だあー



「じゃー  
楽しいですなあー」

# 帰って来た『来る来いのコーナー』



ゴォー (バーナーの音)

みなさんおひさしぶりっ!! あっカブ・ピーバーのみんなははじめてだね。このコーナーは広報の記者がみんなと同じようにプログラムに参加してまぼろしの一等賞をねらうコーナーです。さて今回は熱気球だっ!うちの委員長は高い所が苦手なようですが、わたしはだいじょぶっ♡サンセットコンサートがはじまるころ、ゴォーツという爆音とともにみるみるみんなの姿が小さくなっていった。うーん。これだけじゃもの足りない。そんな時、突然の強風が…。ウヒョーンこわ〜とここで一枚。その写真はインターネットのホームページで見られるよ。

今回は1日だけのイベントだったので、みんなと勝負できなかったけど、きつといつかまたみんなの前に現れていっしょにファイトするよ。

今日はこのくらいにしておきましょう。それではまた。せーのっ「来るなら来いっ!」。



地上30mまで フワリと



# WANTED

みんな、覚えているかい？この間カブラリー会場にいた指名手配の犯人の一人は、俺様だよ。  
 へっへっへっ。よくも仲間たちを見つけてくれたな。  
 な～んちゃって。カメラを持っていたお兄さんさ。  
 スタンプはたくさん集められたかな？  
 国際指名手配犯人はみんないい人たちばかりなんだ。  
 その証拠に、うちのボス&2号を紹介するよ。  
 まずは、親分。  
 親分はな、ビーバーオンステージでしんさいんをやってたんだぞ。おぼえているかな？  
 2号はな、サンセットコンサートのときに、変なかつらをつけてたんだぞ。  
 二人とも、ボーイスカウト茨城県連盟の人なんだ。  
 君たちの隊長とかは知ってるかもね。  
 じゃあ、またあおうぜ。バイバイ。



## 国際指名手配犯人 (こくさいしめいてはいはんんにん)

第20回世界ジャンボリーをのつとた、ものすごく悪いヤツラです。見つけたら逮捕(たいほ)してしま  
 いましょう。ただし、キミのイノチのほしょうにがんしては、とうきよくはかんちしない。……ICSP0



しゅはんリーダー  
よしだ とちんしと



セレクトMリーダー  
コウホウえびはら



セレクトNリーダー  
ギョージながしま



じつこうがたいちょう  
マッチヨすぎうら



きょういくがたいちょう  
ティーチャーみやーた



こくさいがたいちょう  
サバイバル・いぞー



じょうほうがたい  
インターなるげー



くろこがたい  
スリーピーカーない



きろくがたい  
フィッシャーおぼくら



とつげきがたい  
プロフエッサーいさお



やきにくがたい  
エビスガオアクマだね



かがくがたい  
テルモンテさつとう

## コミッショナー通信

### 進歩をふまえたプログラム、家庭・地域との連携

めまぐるしく変化する社会情勢のなかで、子ども（スカウト）の存在を正しく見ているだろうか。

ボーイスカウトの、段階的にレベルを上げていく進歩制度「楽しくやりたい」の気持ちを、大人が摘んでいないか。

バッジシステムのなかで、子ども達がお互いに響きあうスカウト活動を、体験しているだろうか。

子どもの世界も忙しく、塾や部活動のため欠席が多く、班に差が出てくる。上級班長がいない。班長訓練が出来ない。代理が班員をまとめられないなど。

そしてリーダー不足と人間関係の希薄など、スカウト活動への影響はとても大きい。

平成6年度の全国会議報告の重点目標の中に、自然と目標に調和したスカウティングと楽しいプログラムの開発、質の高い指導者の養成…がありました。あれから5年の年月が過ぎた今、魅力に欠けるプログラム、指導者の質の問題、閉鎖的組織のこと、ビーバー隊は子守に近いと表現される等、中途退団者の声に考え込んでしまう。

2002年、学校完全週5日制の導入に伴い、体験（生活体験・社会体験・自然体験）を通して試行錯誤し、子どもを育て、人を育てるプロセスがますます重要となってくる。

体験の機会を意図的計画的に提供し、生きる力となる栄養素を与えていく。

そして今、正義感道徳感の低下から、家庭教育のありがたがより重要視されている。家庭教育の役割は、人間として基本的な情操を身につけること。親のいきざまがそのまま教育となる。地域社会で家族意識を持ち人間関係を学び、発達段階に応じた係わりと体験を、手抜きせず繰り返す積み重ねが殊に大切となる。

人生の荒波に直面した時、対処出来る人に。自分らしく生き自立している人に（自立とはお金をかせぐ事ではなく、人と比較することでもない）

ボーイスカウト運動も地域社会の中で、積極的に遊び感覚をリードした体験プログラムを充実させていきたいものだ。

家庭、学校、地域、職域…どこでもギクシャクした人間関係は良い結果を招かない。努力は必要だが、急がないで、無理な背伸びをすることなく、その人に合ったやり方で個性豊かに。

私の尊敬する先生の講演の中で「甘柿残す」あ — あわせる

ま — 待つ

か — 考える

き — 聴く

残す

のタイミングで付き合うというお話しに深く共感。大人と子ども、大人と大人のコミュニケーションに是非「あまかき残す」を利用していただき、『自分自身の能力を人に役立てる活動をしよう』のプログラムで — 日々前進。

柏原 公子

## ウッドバッチ研修所



ウッドバッチ研修所VS課程茨城第2期 平成11年5月1日～4日 土浦市青少年の家



ウッドバッチ研修所CS課程茨城第27期 平成11年5月1日～4日 土浦市青少年の家

## 編集後記

いや～すばらしいカブ・ビーバーラリーでした。スカウト達がいきいきとプログラムにステージにと、走り回っていました。私も長年ボーイスカウトをやっていますが、これほどのカブ・ビーバーラリーは見たことがありません。Y理事は『いままでの、県連のカブラリーの歴史を塗り替えたイベントになった。』とまで言われました。広報部も総力を上げて取材に記録にとがんばりましたが、あの感動をもう一度、とまでは行きませんでした。でも多少なりの思い出としてカブ・ビーバーラリー特集を組みました。最後に、カブ・ビーバーラリーが終わったとき行事部長の目に光る物を見つけたのはわたしだけのようでした。すばらしいカブ・ビーバーラリーありがとうございました。(広報委員長)